

## 未来につなぐ 日本力

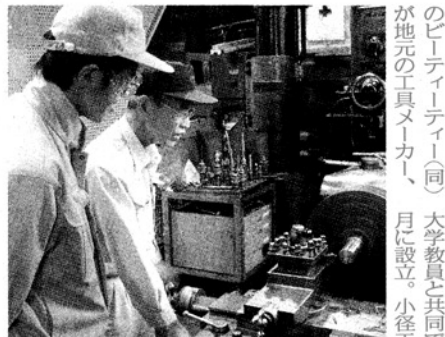
— につばふらんど

### 第3部 技能伝承への挑戦(東海編)

隣のライバル工場に、盤、ボール盤などの操作も機械加工の秘伝を教え、法まで、機械加工業ならまず。工作機械、航空部品加工のタカハシテックニア(名古屋市中川区)は機械加工技術を教える「テクニアカレッジ」を運営する。講師は同社の熟練技能者3人で、指導には同社の機械設備を使う。図面の見方から刃物の選び方、旋盤、ボール盤などの操作法まで、機械加工業ならまずに仕事に役立つ技術をばかりだ。

きっかけは「若手社員に技能を伝承したい」(高橋弘茂社長)と始めた社内の講習だった。口コミで伝え聞いた企業からの要望もあって、2年前に社外にも開放したところ、申し込みが殺到。評判が評判を呼

## ⑦ 人づくりビジネス



のピーティーティー(同)が地元の工具メーカー、月に設立。小径工具など

## 人材育成の悩み逆手に

び、今では名古屋市の開催する一般向け技能教室「なごやモノづくりカレッジ」に講師を派遣するまでになった。

人材育成や技能伝承に悩む中小企業が多い中、それを逆手にとってビジネスにしてしまおう。MTR(同守山区)もそんな一社で、機械工具の講習会「ツール・エンジニアリング・スクール」を運営する。

同社は切削工具再研磨の開発を目的としているが、「工具技術への理解が深まれば市場の底上げにもなる」(青木渉社長)とし、設立と同時にスクールも開始。機械工具商社の営業マンなどを対象に受講者はすでに300人を超える。

中小企業にも国際化が欠かせない時代となり、人材面でもグローバル対応が急務。それをビジネスにつなげたのが工作機器製造のタイムック(岐阜県関市)だ。地元中小企業と岐阜県同友協同組合を94年に設立。世界工場と化した中国から研修生を受け入れ、会員企業に派遣する。

中国、上海の学生など近になりITを駆使した「技術伝承コンサルティング事業」に着手した。富田茂社長は「社員個々に蓄積された技術は会社、ひいては国の財産。それを後世に引き継ぐ手助けをしたい」と同事業にかける熱い思いを語る。中小企業ならではのバイタリティーあふれる人づくりビジネスが、地域の技能伝承を一步前進させる。

## 中小の意欲、地域底上げ

日本カシリーズへの「意見」は burandotky\_nikkan.co.jp <